

NEWS RELEASE

平成 21 年 5 月 27 日

市光工業株式会社

ICK904

市光工業株式会社

インド・^{フィエム}FIEM社と資本・業務提携について基本合意

～FIEM 社の発行済株式 5%を取得し、
インド市場における自動車用ランプ及びミラー事業を強化～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区東五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）は、インドの大手自動車用ランプ・ミラーメーカーである^{フィエム}FIEM Industries Limited（本社：Kiriti Nagar, New Delhi、会長兼社長：J. K. ^{ジェイン}Jain、以下 FIEM 社）と、資本・業務提携についての基本合意書（MOU）を締結しました。

市光工業と FIEM 社の両社は、2005 年 11 月に、市光工業から FIEM 社にミラーガラスの生産技術を供与する技術支援契約を締結していました。今回、新たに資本関係を含めた提携強化を図ることで、両社は、インド市場における自動車用ランプ及びミラー事業で協力し、製造、開発体制を強化します。まず、新たな技術支援として、市光工業は FIEM 社に対し、自動車用ランプ及びミラーの製造、開発に関する技術を提供していきます。また、市光工業が設計した製品の一部、または部品を FIEM 社で製造し、現地の自動車メーカーに供給することも視野に入れた製造委託も計画しています。さらに、市光工業は、FIEM 社の発行済株式の 5%を取得し、両社の資本関係を強化していきます。

市光工業では、成長著しいアジア市場を獲得するため、国内外のグループ全体の経営資源を戦略的に配分する構造改革を実施しており、中国に次ぐ自動車産業の拡大市場と位置付けられるインドにおいて、FIEM 社との協力体制を強化することで、事業のグローバル展開を加速させていきます。

世界の技術光源になる

ICHIKOH

（このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。）

(参考)

「市光工業とは」

市光工業株式会社（以下、市光工業）は、1903年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及び、海外自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）ヘランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されているLEDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで21%、ミラーで27%といった大きなシェアを誇っています（2007年実績）。

フィエム インダストリーズ リミテッド
「FIEM Industries Limitedとは」

FIEM Industries Limited（以下、FIEM社）は、1970年に設立された、インドの大手ランプ・ミラーメーカーです。ホンダやスズキ、ヤマハなどの現地二輪メーカーに製品を供給しているほか、自動車用部品事業にも進出し、インド最大手のタタ自動車をはじめ、韓ヒュンダイや伊フィアット等の現地自動車メーカーに取引を拡大しています。年間売上は、約22億ルピー（約44億円）です（2008年度実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子/日置
TEL : 03-3443-7211

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 03-3443-7211

(株)VAインターナショナル

田中/亀有
TEL : 03-3499-0016
FAX : 03-3499-0017